



文化とは「人の心を動かしてくれるもの」

ひと雨ごとに気温が下がり、すっかり秋らしくなってきました。朝晩の気温の変化が激しくなってきましたので、ご自愛ください。また、この季節は台風が日本列島を通過する時期でもあります。生徒の登下校には今後も天気予報等の情報収集に努め、近隣校とも連絡を取りながら、子どもたちができるだけ安全に登下校できるように配慮していきます。

さて、9月22日（木）、3年ぶりに文化発表会が開催されました。開会式で私は「文化って何？」と生徒に尋ねました。もちろん、いろいろな定義はありますが、一言でいえば、「人間がつくり出したもの、すべて」ではないかと思っています。絵画や彫刻、建築物のような「形あるもの」もあれば、歌や演奏といった「目に見えないもの」、さらには茶道や芸能といった特定の行動様式や表現活動も“文化”のひとつです。それぞれ異なるものではありますが、どれも「人の心を動かしてくれるもの」ではないでしょうか。

本校でもステージ部門では合唱部と吹奏楽部の素晴らしい歌声と演奏が行われ、聴いている人の心を打ちました。また、27日（火）には展示部門の美術部と科学部の生徒が時間をかけて取り組んだ見事な作品を見学することができました。その他にも国語科や理科などの作品や1年生が総合の時間に行った職業調べの成果も展示されていました。どの作品も見ている人の心を動かすものでした。（ボランティア部は今回発表こそありませんでしたが、日頃から校内清掃など学校のため頑張っていて活動してくれています。）文化部ステージ部門・展示部門を観覧した3年生の感想の一部を次のとおり紹介いたします。

これまでの合唱部と吹奏楽部の大変だった背景も見えたし、今まで辛いこともあっただろうに、それを感じさせないような素晴らしい合唱と合奏を見せてもらって、とても感動しました。今まで見られなかった2つの部活の活動が見られて嬉しかったし、一人ひとりが輝いていて誰一人として欠けちゃいけないと思った。一回しか聴けないのが残念だけど一回でも聴けたことに感謝します。

理科では各学年の自由研究や精密画の作品が見られて楽しかったです。美術部ではみんなが自由に書けるスペースがあったり、工夫されていました。飾ってある絵が1枚1枚きれいで写真かと思うものもありました。1年生の国語科の「あいうえお作文」も個性があって楽しかったです。3年間で一度しかできなかった文化発表会だったけれど、今回できて本当に良かったです。



秋休みは“ハーフタイム”前期の振り返いを～生徒の皆さんへ～

10/7（金）に今年度の前期が終わります。サッカーの試合で言えば、前半終了です。10/8（土）～10（月）の秋休みは言わば“ハーフタイム”です。前半の試合を振り返り、4月に立てた『今年度の目標』に自分自身がどの程度近づいているかを考え、今後どのようにすれば達成できるかを練り直す期間です。その時に重要なのが『メタ認知能力』とも言われる自分自身を客観的に分析できる力です。新しい学習評価の観点でもある『主体的に学習に取り組む態度』（自己調整力・粘り強さ）も同様の資質・能力が求められていると言っても良いでしょう。

現在、メジャーリーグにおいて『二刀流』で大活躍している大谷翔平選手が実践したことで話題となった『目標達成シート』というものがあります。これは大元となる目標を明確にし、それを達成するための具体的な項目を可視化したフレームワークのことです。

このシートには次のようなメリットがあるとされています。

- ①目標が明確になる ②目標達成までの具体的なプロセスを可視化できる
 - ③煩雑になりがちな思考を整理できる ④これまで気付かなかった新しいアイデアを生み出せる
- 皆さんも実践してみませんか？もしかしたら、大谷選手のように自分の目標が達成できるかもしれませんよ。（詳細はネット等で検索してみてください）

心を込めて歌おう！3年ぶりの市民会館での合唱祭～生徒の皆さんへ～

文化発表会も終わり、いよいよ今度は合唱祭です。各クラスで皆さんが練習する姿を見て、合唱祭当日が楽しみになってきました。今年は3年ぶりに市民会館が会場となります。普段は登壇することができない場所で歌うことができます。大変貴重な機会なので、気持ちを込めて全力で歌ってほしいと思っています。そこで、今後に向けて私から一つ皆さんへアドバイスしたいことがあります。それは歌うときの表情です。マスクをしているため、「表情なんて関係ないだろう」と思う人もいるかもしれませんが、歌は心です。「もっと大きな口を開けて豊かな表情で歌ったらいいのになあ」と思っています。もちろん、現段階としては音程やハーモニー、強弱にポイントを置いて練習している時期かと思います。しかし、最終的にはこれ以上開けられないくらい大きな口で、気持ちを込めて笑顔で歌いましょう！きっと聞こえ方が変わってくるはずですよ。すばらしい歌声は多くの人を感動させます。

宮城県の仙台市に八軒中学校という学校があります。合唱がとてもさかんな学校でNHK全国学校音楽コンクールの常連校でもあります。しかし、その八軒中学校も2011年3月11日の東日本大震災によって大きな被害を受けました。実は八軒中学校はその年の3月19日に行われる予定だった合唱の全国大会に出場する予定でした。しかし、突然起きた地震のため、合唱どころではありません。何しろ中学校自体が緊急避難所に指定され、被災者の方々が肩を落としています。生徒たちは出場をあきらめ、ボランティアとして必死に被災者のケアに追われました。その中で生徒たちに芽生えたのが「自分たちは何ができるのか。自分たちに出来ることから行動していこう。」という気持ちでした。「自分たちに出来ること、それは歌うこと。」生徒たちは本来であれば晴れの舞台に立つはずだった3月19日に、被災者の方々の了解を得て、『あすという日が』という歌を避難所になっている格技場で歌いました。その風景を偶然にもテレビ局が取材し、ニュースで大きく取り上げられ、その感動的な映像が反響を呼び、CD化、そして、その年のNHK紅白歌合戦出場につながったのです。すてきな話ですよ。

私はこの合唱祭でも、先ほど述べたように「目に見えないもの」「形ないもの」の大切さを感じてもらえたらと考えています。私たちの身のまわりには物があふれています。そのため、私たちはお金や洋服、豪華な食事といった物質的な豊かさだけが心を豊かにするものだと考えがちですが、人の心を豊かにするものは形として見えるものだけではないはずですよ。目に見えない周りの人の優しさに心が癒やされたり、うれしくなったりした経験もありますよね。同様に形はないけれど、思いのつまった合唱を聴いて感動を覚えることもあるはずですよ。年に一度のチャンスです。是非、聴いている人の心に響く合唱を目指して頑張ってください。

心温まる癒やしの時間でした～8組おはなし会～

9/26(月)2校時、8組では『おはなし会』が行われました。お二人の方が気持ちを込めながら、情景が目浮かぶように丁寧にお話をしてくださいました。聴いている子どもたちも引き込まれるようにお話に夢中になり、時には歓声をあげたり、つぶやいたり楽しそうに過ごしていました。プログラムは次のとおりです。

- おはなし 『ホットケーキ』
- 紙芝居 『たべられたやまんば』

○絵本 『ピーナッツなんきんまめらっかせい』『わゴムはどのくらいのびるかしら？』

最近ではデジタルの時代となり、スピードや効率性、現実性が求められる時代ですが、そういう時代だからこそ、人間味あふれる、ゆったりとした時間がいかに重要かを改めて感じました。

